

# 骨盤外傷あるいは下部消化管出血の疑いで救急搬送され、造影 CT を施行された患者さまならびにご家族の方々へ

当院では、より良い治療を行うための研究

「緊急 TAE (transcatheter arterial embolization; 経カテーテル動脈塞栓術) における IVR (Interventional Radiology) 手技支援ソフトを用いた手技支援画像の初期検討」を実施しています。

TAE を行う場合、手技支援画像と呼ばれる画像を参考にしながら実際の手技を行うことがありますが、時間的猶予が限られる緊急 TAE においても、IVR 手技支援ソフトを用いることにより、手技支援画像を迅速かつ簡便に提供できないかを、当院で研究しています。IVR とは、X 線透視や CT などの画像を用いてからだの中を見ながらカテーテルや針を使用して行う治療です。

これまでの CT 画像を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この調査では、担当者が対象となる方の CT 画像を選び、IVR シミュレータの自動血管抽出機能を用いて処理し、血管抽出の可否、抽出時間、抽出距離を調べます。

調査の対象は、一部の方です。

2019 年 8 月 1 日から 2020 年 8 月 31 日のあいだに、骨盤外傷あるいは下部消化管出血の疑いで救急搬送され、造影 CT を施行された 16 歳以上の患者さまのうちの一部のかたを対象としています。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

収集された資料は、個人を特定できないように処理して、当院で収集して解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。研究終了後、収集資料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される場合があります。その場合は改めて倫理審査を受けます。この研究全体の結果を、研究終了後に、対象者にお伝えする予定はありません。ご不明な点がございましたら、下記当院担当科までお問い合わせください

この調査にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。その場合は、2021 年 1 月 7 日までに、当院放射線部 藤森章史にお申し出ください。

連絡先： 済生会横浜市東部病院放射線部・担当者 藤森 章史  
電話 045-576-3000  
内線 (PHS) 9103  
住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1